

第2回四国中央市水道事業経営審議会会議録

日 時 平成28年3月3日(木) 13時30分～14時40分
場 所 中田井浄水場(浄水管理センター)2階会議室
出席委員 曾我孝志、石川雅博、川口吉勝、薦田洋司、野尻欣子、馬木美佐子、
吉見竜児
理事者 星川 隆、谷 博文、寺尾大典、石川 茂、真鍋伸二、鈴木敏弘、高橋育夫
事務局 石村佳史、越智康、佐々木奈美
傍聴者 0名

1. 開会

○曾我孝志 会長

開会挨拶

○谷博文 水道局長

挨拶

以下、曾我孝志会長が議長となり、議事を進行。

2. 議案1 平成26年度決算報告について

○事務局より平成26年度決算報告。

○川口委員

給水人口について、過疎で給水人口が減少している中、新宮地区が34人増加している原因は何ですか？

○事務局

秋田・程野地区の整備によるものです。

○曾我会長

平成26年度四国中央市水道事業会計報告において、収入額及び支出額が増加していますがこれは何によるものですか？

○事務局

平成26年度から地方公営企業の会計基準が改正されたことによるものです。平成25年度までは事業に対する補助部分はこれを除いて資産の減価償却をしておりましたが、平成26年度からは補助部分も含めてすべて減価償却することとなりました。減価償却費資産減耗費が増額となっているのは、富郷ダムに対する補助金と一般会計からの繰入金額を償却した部分が計上されていることによるものです。長期前受金戻入についても同様にこれを収益化した結果増額となっております。

○曾我会長

土居地域の給水単価が高い状況が続いていますが、毎年このような状況ですか？

三島川之江地域と土居地域で給水単価の差があるのはどのような要因ですか？

○事務局

料金は据え置くという合併時の約束でこのような状況が続いております。

給水単価については計算式（経常費用÷有収水量）がありますが、有収水量が違いますので単純には計算できません。尚、給水単価は単年度の比較です。

○川口委員

寒波による断水時の新宮地区の給水利用状況はどうでしたか？

○事務局

27日と28日に給水車を新宮庁舎に配置いたしました。27日に業者1人、個人1人が利用しました。28日については利用はありませんでした。個人の方は山の水を利用したと伺っております。

3. 議案2 中田井浄水場等更新整備・運営事業ほか工事の進捗・予定について

○事務局

中田井浄水場等更新整備・運営事業ほか工事の進捗・予定について説明。

○薦田委員

維持管理運営業務の委託期間が18年と長くなるのはDBO方式によるものだからですか？18年となると競争が働かなくなってしまうと思われませんが、経費節減に対してどのように努めていくのですか？また、新しく設立した特別目的会社の株主が当初の5社から4社に減っているのはどのような理由からですか。

○事務局

DBO方式は一般的に長く契約するのですが、その意図は設計、建設、維持管理とセットで契約することによりライフサイクルコストを低減させることです。株主が当初より1社減っているのは、地元企業については特別目的会社の株主にならなくてはならないというしぼりが契約上ないからです。

4. 議案3 その他

○野尻委員

上水道に対する市民の意識を高めるという意味でも、主婦目線で、水道を作るためにはこれだけお金がかかるんだ、今このような工事をしているんだということを簡単にわかりやすく市報などに掲載し、広報していくことも検討していければよいかと思います。

○事務局

平成28年度中に今後の工事見込額等の裏付けができれば、市報に掲載したいと考えています。

5. 閉会

○曾我孝志 会長

閉会挨拶